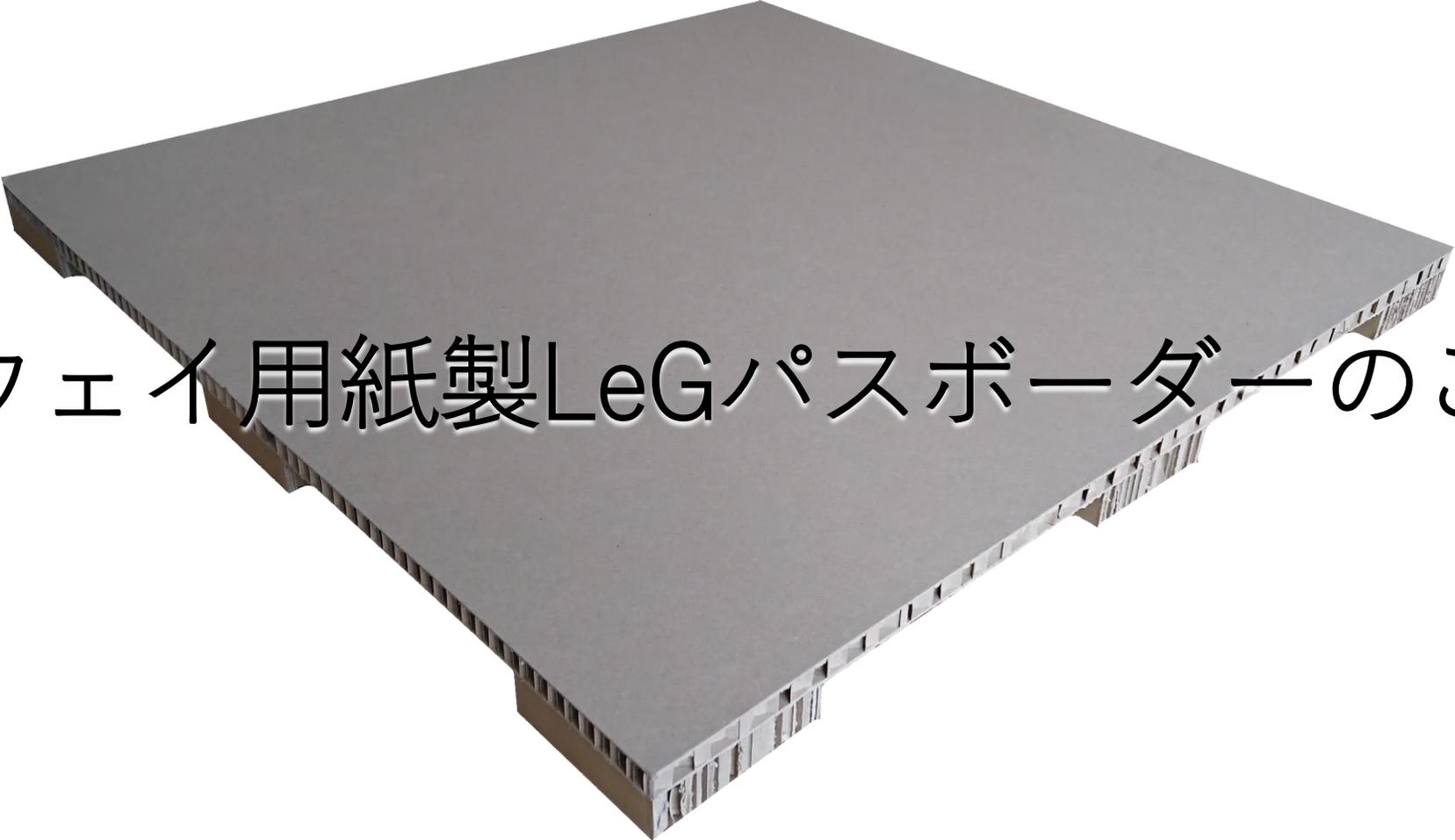


— 超薄パレット・パスボーダー™ (PAT) の視点でパレットのムダ取り —



ワンウェイ用紙製LeGパスボーダーのご紹介

ALT アドバンスド・ロジテックジャパン株式会社
Advanced Logi-Tech Japan Co., Ltd.

・ PassBorder®はアドバンスド・ロジテックジャパン株式会社の登録商標です(登録第5901536)
・ 特許第6150152号

物流を支えるパレットは、
100年にもなる歴史のなかで、
樹脂製品の誕生という変化はあったが、
その形状は維持されて来た。



製品保管を主たる役割としてきたパレットが、
製品輸送における手荷役作業解消の切り札として期待される状況において、
この形状が最適なのか、見直してみたいというのが当社の提案です。

SDG s（持続可能な開発目標）の視点から

荷役作業を人手から機械に切り替えていくことは、女性が体力差を克服することを可能とし、ジェンダー平等に貢献するものと、当社は考える。



目標 5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

女性と女児に教育や医療、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）への平等なアクセスを提供し、政治的・経済的意志決定プロセスへの参画を可能にすれば、持続可能な経済が促進され、社会と人類全体に利益が及ぶことでしょう。

男女の体力差が意味を成さなくなれば、女性も物流産業においてより多くの役割を担うことが出来る。

機械荷役への切換えとは、パレット積みされた貨物をフォークリフトで扱うことを意味するが、パレットにはコンテナ積載効率の低下や廃棄問題がつきものである。

そこで、当社としてはSDG sの視点から効果的なパレットを紹介する。

SDGs（持続可能な開発目標）の視点から

パレット輸送の普及に従い、パレット使用量は増えていくものと期待されるが、パレットは効率的で、かつ環境配慮も欠かせないものと、当社は考える。



目標 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

持続可能な消費と生産は「より少ないものでより多く、よりよく」を目指しているため、経済活動による正味の福祉向上は、ライフサイクル全体を通じて資源の利用、劣化および汚染を減らす一方で、生活の質を高めることによって促進できます。

パレットは通常120ミリ～150ミリの厚みがあり、コンテナ積載効率の低下を招き易い。また、使い捨てとなるワンウェイ用パレットはコスト重視のために木製が多く、着荷地側では法令や規制に従い、産業廃棄物として適正に廃棄されなければならない。

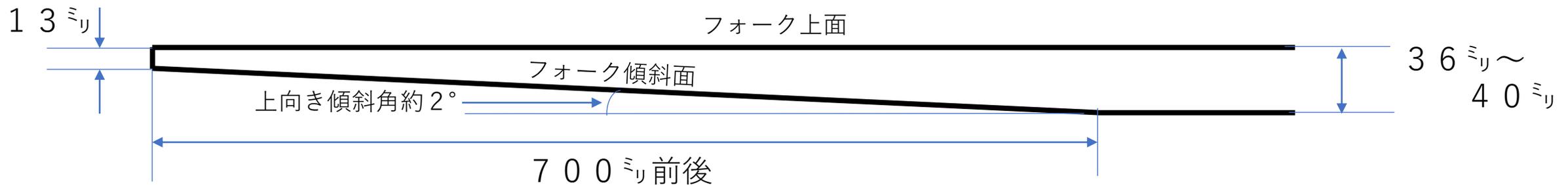
そこで、厚さわずか65ミリで、しかも容易にリサイクル可能な紙製のLeGパスボーダーを紹介する。

1. パレットを厚くする主因“フォークポケット”とフォーク爪の厚み

パレットに備えられる“フォークポケット”の高さは80ミリ～90ミリが多く、そのためパレットは120ミリ～150ミリの厚さとなっている。

一方で、フォーク爪自体の厚みは36ミリ～40ミリ程度※にある。

また、その形状は先端に向かって薄くなり、先端部は13ミリ程度の薄さにある。

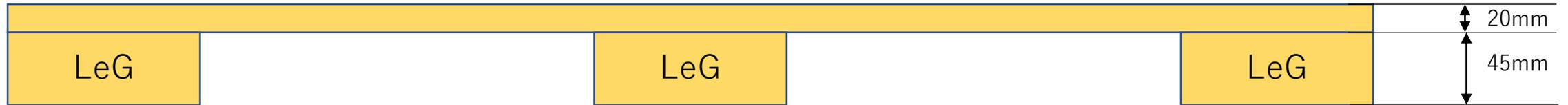


この形状を最大限活用したものが、LeGパスボーダーである。

※フォークの厚み=1.0ト～2.5ト容量のカウンタータイプフォークリフトに装着されているフォークの根元部厚み

2. ワンウェイ用紙製「LeGパスポーダー」のご紹介

◆通常フォーク爪で作業可能な「薄さ」を極限まで追求。



◆特徴

- ① 2.5トクラス以下の通常フォーク爪で作業可能
- ② 36ミリ高さ薄型ハンドパレットで作業可能
- ③ オール紙製のため、荷受地での産業廃棄物処理が不要
- ④ 木製パレットよりも低価格
- ⑤ サイズによって、2方挿しと4方挿しをご用意
- ⑥ 動荷重500kgs、静荷重1,000kgs



◆使用上の注意点

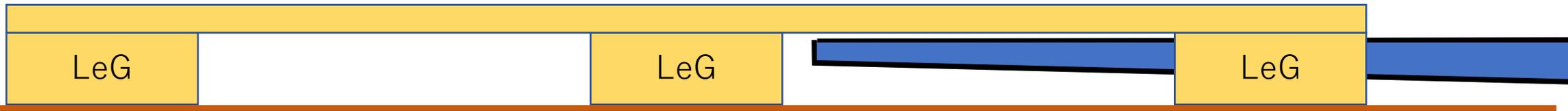
- ① ストレッチ包装等の荷開き防止策は必須
- ② LeG高さが通常フォークの根本厚さとほぼ同一のため、操作にあたっては注意（コツ）必要
- ③ 下段側貨物天面は、フォークが触る可能性が高いため、厚紙等での防汚対策が必要

3. LeGパスポーダーの作業におけるコツ –ピックアップ編–

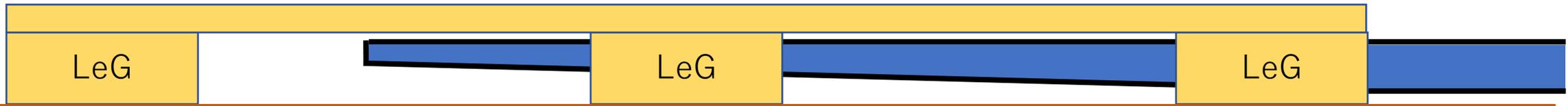
- ① **2° 程度ティルトダウン**して、フォーク挿し入れ開始（フォーク傾斜面が床と平行）
＝ 先端部が13ミリの厚さのため、挿し入れ当初20ミリ以上のクリアランスを確保。



- ② 200ミリ～300ミリ挿し入れたところで、**ティルトアップ&リフトダウン**操作で
フォーク上面を水平にもどし、フォーク根本が床から離れるまでリフトアップ。



- ③ フォーク根元が床面を擦らないように注意しながら前進。

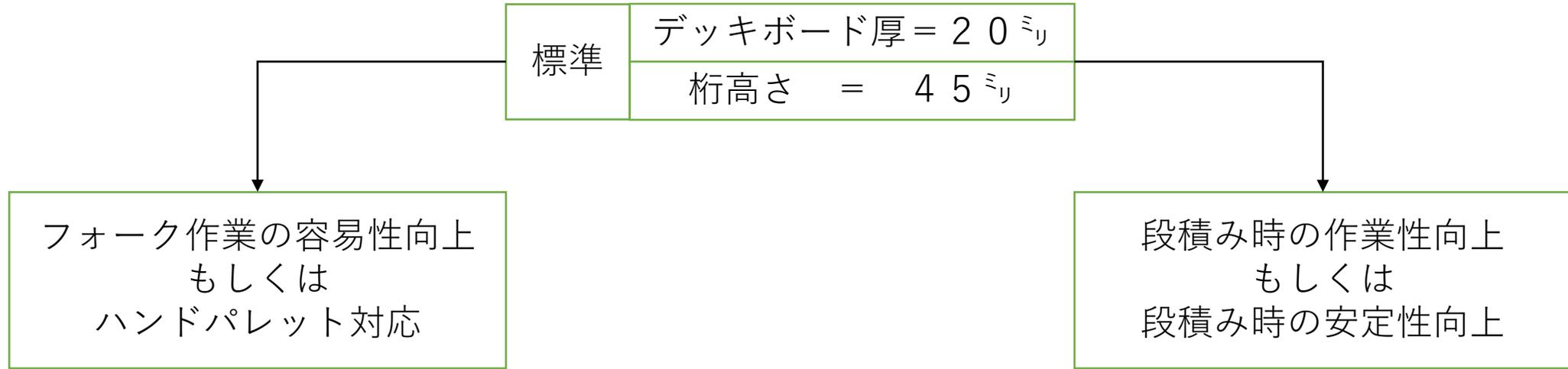


- ④ フォークを完全に挿し入れたところで、リフトアップして貨物ピックアップ完了。



4. 現場に寄り添うオプション設定

様々な現場の事情に対し、使い易さも実現します。



◆桁高さのオプション設定

45 ミリ (標準)

60 ミリ

75 ミリ

90 ミリ

◆底板の追加

+

◆ハンドパレット対応底板の追加

参考資料 フォークリフトメーカー別フォーク寸法一覧（当社調べ）

※寸法は、フォーク根元厚み

	三菱ロジス ネクスト	トヨタL&F	コマツ	住友ナコ
1.8トクラス	35 ^{ミリ}	36 ^{ミリ} 未満 (2.0ト未満クラス)	36 ^{ミリ} 未満 (2.0ト未満クラス)	未 掲 載
2.0トクラス	40 ^{ミリ}	36 ^{ミリ}	36 ^{ミリ}	
2.5トクラス	40 ^{ミリ}	40 ^{ミリ}	40 ^{ミリ}	
3.0トクラス	45 ^{ミリ}	44 ^{ミリ}	45 ^{ミリ}	
3.5トクラス	50 ^{ミリ}	50 ^{ミリ}	50 ^{ミリ}	

ご相談承ります

- ・本資料は、作成時の最新の情報・データ・理解に基づき作成されたもので予告なく変更されることがありますので、ご留意願います。
- ・本資料にて記載されております価格は全て消費税抜価格です。
- ・本資料に使用されている製品写真は参考として掲載されたもので、製品の仕様の一部をなすものではありません。また、製品はその仕様・デザイン等を予告なく変更される場合がありますので、ご留意願います。

お問い合わせ先

アドバンスド・ロジテックジャパン株式会社

TEL : 090-6172-2528 FAX : 廃止

E-mail : admin@adv-logitech.co.jp

URL : <http://adv-logitech.co.jp/>